

水稻生育情報 (No.6)

令和年7月22日
県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)

【生育概況】

7月の平均気温は平年より2℃以上低く、日照時間は平年の23%とかなり少なく、降水量は平年の84%と少なくなっています。

管内のコシヒカリの生育状況は下表のとおりで、草丈は平年並み、莖数は平年より多く、葉色は平年より濃くなっています。出穂期は平年より4～9日遅くなることが予想されています。

表1 水稻定点調査結果(7月19日現在:コシヒカリ)

調査地点	田植え日 月/日	植付株数 株/坪	草丈 cm	莖数 本/m ²	葉色 葉色版	SPAD値	幼穂長 mm	出穂予測日 (月/日)
筑西市	5月1日	36	90	450	4.5	35.8	57	8/1
一本松	(5月2日)	(60)	(93)	(505)	(3.7)	(29.4)	(164)	(7/25)
下妻市	5月1日	47	90	505	3.3	36.3	53	8/1
加養	(5月1日)	(47)	(91)	(445)	(3.6)	(30.1)	(186)	(7/23)
桜川市	5月17日	65	77	584	3.7	32.4	2	8/9
元岩瀬	(5月14日)	(59)	(90)	(410)	(3.7)	(31.1)	(55)	(7/31)
桜川市	5月4日	50	88	454	3.8	32.0	44	8/2
真壁町飯塚	(5月6日)	(53)	(90)	(385)	(3.6)	(29.8)	(142)	(7/29)

()内は平成25～29年の5か年平均値

注)出穂日は、今後の天候により前後する場合があります。

【これからの栽培管理のポイント】

・乳白粒発生を軽減するための水管理について

気象庁の予報によると、今後1か月は高温となる確率が高いと予想されています。高温登熟による乳白粒、胴割粒等の発生を防止するため、間断かん水を実施しましょう。出穂期以降の間断かん水は図のように入水と自然落水を交互に繰り返します。入水時期の目安は、田面に触れると「湿り気を感じる程度」から「水が付着する程度」です。田面が乾きすぎないように十分注意しましょう。

また、出穂してから最低30日間は間断かん水を行い、イネに水を供給して下さい。

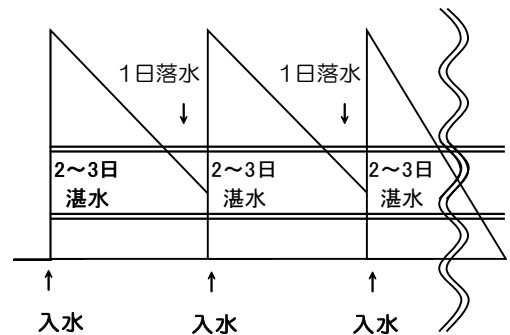


図1 出穂期以降の間断かん水

・適期収穫について

早刈りは青米が多く、千粒重が軽くなり、収量が低下します。逆に刈り遅れは胴割粒などの被害粒や茶米などの着色米の発生の要因となります。

出穂期から収穫までの日数は35～40日程度となります。この日数はあくまでも目安なので、最終的には場で直接籾の色を確認(帯緑籾率)して適期収穫に努めて下さい。収穫適期は帯緑籾率が10～5%程度(一穂あたり約6粒前後)の時です。

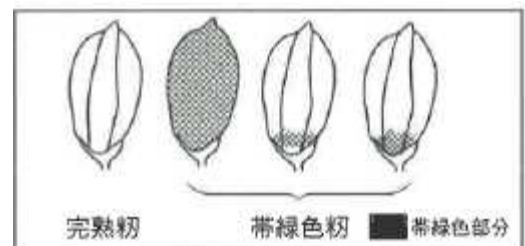


図2 帯緑籾の見分け方